

# 愛難連第 50 回大会の報告

愛知県難病団体連合会第 50 回大会「ICT を使った医療・介護連携と災害対策」を以下のよう  
に開催しました。

- 日 時 令和 5 年 9 月 3 日 (日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分  
会 場 東別院会館ホール 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘 2  
テーマ ICT を使った医療・介護連携と災害対策  
講 演 1 ICT を使った医療・介護連携と災害対策  
講師 野田 正治 先生  
愛知県医師会副会長  
野田内科小児科医院院長  
2 在宅での神経難病の利用者様に対する訪問看護ステーションの関わり  
～進行に沿った多職種連携と福祉用具の提案について～  
講師 神田 雄生 先生  
終訪問看護ステーション・リハビリテーション部 部長  
ナーシングデイ終 センター長
- 参加対象 難病患者・家族、支援者、議員、一般の方  
後 援 愛知県、名古屋市、愛知県医師会、愛知県共同募金会、  
中日新聞社、中日新聞社会事業団、東海テレビ福祉文化事業団、  
中部善意銀行、愛知難病救済基金、  
愛知県医療ソーシャルワーカー協会、愛知県理学療法士会、  
愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会  
参加費 無料  
ブース出展 訪問薬剤師によるお薬相談会（スギ薬局）

当日の参加者数は来賓（19 名）含めて 70 人でした。

## 野田先生のご講演は

全国の ICT 地域医療連携の実態について「実は病病連携・病診連携が多く、これらは患者の画像や検査データの共有、場合によっては電子カルテの閲覧に使われている。医療介護連携は 27%・61 システムに過ぎない。その約半数が愛知県」と指摘されました。ICT の広域化について、「医療・介護は単一自治体の範囲を越えているため災害時に広域化は必須」「広域化は救急連携にも有用」と話されました。

医療・介護連携、防災対策が、具体的にどのように進められているのかを知る良い機会となりました。

## 神田先生のご講演は

「訪問看護ステーションの紹介、リハビリテーションとは、神経難病の事例紹介」を、業務に直接関わっていない方にも、分かり易く説明いただいたものとなりました。

## 大会に御出席、欠席連絡・メッセージなどいただいた来賓のご紹介

愛知県医師会 会長 柵木充明様 (代読) 愛知県医師会副会長 野田 正治 先生  
愛知県 愛知県保健医療局医務部健康対策課 担当課長 伊佐地映子 様  
名古屋市 名古屋市健康福祉局健康部健康増進課 主査 伊藤 和子 様

ご出席・欠席連絡・メッセージ等いただいた議員名を紹介します。(順不同)

### 参議院議員

田島麻衣子  
大塚 耕平  
酒井 庸行  
安江 伸夫  
藤川 政人  
斎藤 嘉隆  
伊藤 孝恵  
新妻 秀規  
濱口 誠

江崎 鐵磨  
牧 義夫  
大西 健介  
今枝宗一郎  
池田 佳隆  
神田 憲次  
伊藤 忠彦  
根本 幸典  
八木 哲也  
重徳 和彦  
伊藤 渉

浦野 隼次  
神部 洋美  
石井 芳樹  
政木 りか  
田中 泰彦  
森井 元志  
細井 真司  
江原 史朗  
木藤 俊郎

### 衆議院議員

古川 元久  
近藤 昭一  
吉田 統彦  
石井 拓  
岬 麻紀  
工藤 彰三  
丹羽 秀樹  
鈴木 淳司  
長坂 康正

本村 伸子  
杉本 和巳  
青山 周平  
山本 左近

### 愛知県議会議員

神谷 和利  
小木曾史人  
ますだ裕二

### 名古屋市議会議員

吉田 茂  
永井 ゆり  
大田とみひこ  
岩本 たかひろ  
岡田 ゆき子  
赤松 哲次  
長谷川由美子  
森 ともお  
小川 としゆき  
おか 千恵

(愛知県選出の国会議員、愛知県議会福祉医療委員会委員、名古屋市財政福祉委員会委員など64議員に案内状をお送りしました)